まちづくり検討会議（ワークショップ）会議録

井波行政センター　森松

件　名	第２回まちづくり検討会議（井波第１回）		
日　時	平成３０年３月２６日（月）	場　所	南砺市井波総合文化センター農事相談室
出席者	〔検 討 会 議 委 員〕１２名 〔ファシリテーター〕谷内博史、能登貴史 〔地域づくり支援員〕稲垣清人、亀田秀一 〔行政センター職員〕森松誠一		
内容	今後の会議の進め方について 第１段階：「井波がこんなまちになってほしい」「こんなまちに住みたい」を考える 第２段階：実現させるための行動を考える　→　市の行動計画に盛り込んでいく 　不満がある　→　問題点や課題を解決　足りないものを求める 　満足である　→　魅力、光るもの、自慢や誇り等をなくさないようにして新たなものを足す ◎今回の会合では、第１段階「こんなまちにしたい」のゴールを明確に示したい		
詳細	次回の会議で話したい、まちづくりの課題、提案 第１段階：「地域がこんなまちになってほしい」を考えるための討論の進め方 （結論までのヒント・意見として） **○井波のここが好き** ・高瀬神社（縁結び）や瑞泉寺など，神社仏閣のトップクラスの建物がある ・独特な町民性（何気なく暖かい、奥ゆかしすぎる） ・用水・排水など世代を超えた管理 ・木彫刻家にとって最高の環境 ・小さい町だけど飲食店が多く集まる仲間が多い ・瑞泉寺を中心とした歴史ある町並みを町外の人に伝えることにより魅力を再発見できるのでは･･･? ・地域の子どもは地域で育てている ・お年寄りが元気 ・あまり魅力がない？ **○井波庁舎ありきの問題。** ・庁舎（旧役場）は地域「城」。城がなくなれば城下町は滅んでいくのは予想出来る 　→庁舎を壊すのは反対（核となるのは庁舎？） ・庁舎は更地にして跡地にする　→　子どもの遊び場（児童公園の延長）、宅地、新しい建物 ・子どもの遊ぶスペースが欲しい 　休みの日でも、屋内（雨、雪の多い地域なので）で遊ぶスペースや図書館などを作る（付加価値） ・人（特に子ども老人）が集まりやすい場所 　アスモやアオキなどに歩いていける　高齢者のシェアハウスをつくってもいいのでは？ ・滞在型観光地を目指して簡易なホテル、ゲストハウスなどとして活かすべき ・高岡、城端と五箇山を結ぶ中間地点としてバスターミナル機能をもたせる 　（外国人観光客を引き寄せる） ・庁舎は今の場所にいらない　行政センター機能はアスモに移ってもいい ・木彫刻訓練校が古くなってきているので庁舎から転用する ・木彫刻キャンプの作品の展示など、井波独特の美術館機能をもたせる **・いくら存続を希望しても管理する者、資金がなければ存続できない。** **・アスモ、文化センターを町の核に出来ないか　（庁舎にかわる建物は何か）** ・アスモの空きテナントに行政センター機能を置き、暮らしません課と並べる 　医療機関も置く（現在、鷹西医院が仮店舗を開設している）など複合施設として利用 ・文化センターを文字通り文化の中心にする（中学校卒業式がすばらしかった） 　災害時の避難拠点としても活用する **◎結論として** **　地域の不満や課題を明確にする** **　不満を出していかないと話が始まらない** ○人の問題 ・町中に人（住民･観光客など）が歩いていない　　車社会 ・年寄り、子どもが集まる場所、しゃべり場、銭湯など色々な世代が集まる場所がない		

	・彫刻の弟子など、数年修行しても井波に定住しない 　営業力をもっと伸ばすためにはどうすればよいか？ ・「まちに賑わい」というが何が賑わいなのか？ 〇建物の利用（使い方など整理して考える） ・利用状況を考える 　「アスモ→毎日」、「文化センター→時々」、「庁舎→年に数回」と考えると、アスモの利活用を大いに考えたほうがいい ・庁舎は使いづらい　維持にいくらかかるのか ・ほかにも体育館の利用や今から始まる小規模多機能自治の収入源などを考えたまちづくりを考える 次回会議に必要な資料などの要望 ・同じような会合が多い　話し合いの内容が重複しているような気がする **ほかの地域や会合で話し合った内容が知りたい**
備考 課題・宿題・ 今後の対応等	第２段階を考える 実現させるための行動を考える